

フラッグフットボール世界選手権 参加報告

平澤幸一郎、根岸作力

12月6日から8日にかけて開催された『第10回 IFAF フラッグフットボール世界選手権イスラエル大会 2021』に審判として参加してきました。

国際アメリカンフットボール連盟（IFAF：International Federation of American Football）が主催する本大会は2002年の第1回大会から2年毎に開催され、昨年2020年に第10回を開催予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延の影響もあり延期されました。

男子21チーム、女子18チームが参加し、日本からは、全国から召集された男女の代表チームが派遣されました。（選手の出場資格は、男子18歳以上、女子16歳以上）

日程

6日、7日 予選リーグ（男女別各4グループ）、プレイオフ、順位決定戦

8日 順位決定戦、準決勝、決勝

優勝は男女ともアメリカ、準優勝は男女ともメキシコ、日本チームは男子11位、女子6位という成績を収めました。特に女子はプレイオフでアメリカと好ゲームを演じ、大会最後のメダルセレモニーで特に印象に残ったチームとして名前が挙げられました。

参加国（最終順位順）

男子： 1. アメリカ、2. メキシコ、3. パナマ、
4. イタリア、5. フランス、6. オーストラリア、
7. デンマーク、8. ドイツ、9. イスラエル、

10. スペイン、11. 日本、12. チーム・ニュートラル、13. タイ、14. スイス、15. 韓国、16. チリ、

17. ブラジル、18. フィンランド、19. ベラルーシ、20. インド、21. スロバキア

女子： 1. アメリカ、2. メキシコ、3. オーストラリア、

4. ブラジル、5. パナマ、6. 日本、7. フランス、

8. イタリア、9. スペイン、10. ドイツ、
11. チェコ、12. イスラエル、13. チームニュートラル、

14. デンマーク、15. ベラルーシ、16. スイス、

17. フィンランド、18. チリ

試合会場は、エルサレム市内の Kraft Family Sports Center というニューイングランドペトリオッツのオーナーKraft氏が提供するグラウンドで、人工芝のフットボール用フィールド1面、天然芝のフィールド1面、人工芝のフィールド1面からなり、各フィールドにフラッグフットボール用のフィールドを2面取り、全6フィールドで予選リーグ、プレイオフ、順位決定戦を実施しました。最終日の決勝トーナメントは、30,000人収容のサッカースタジアム Teddy Stadium に舞台を移しました。荒天が予想された3日目でしたが、夜間に雨はふったものの、大会を通して天候は概ね良好でした。

Kraft Family Sports Center



Teddy Stadium



参加国は隣接する二つのホテルに分かれて宿泊しており、審判は各国のチームとともに宿泊しました。宿舎のホテルとフィールドは試合開始時刻に合わせてバスが出て、移動時間は 20 分程度でした。

ホテルの部屋はツインルームにソファベッドを展開した 3 ベッドの部屋で、日本選手団団長の奥氏、平澤さん、根岸で同室となりました。

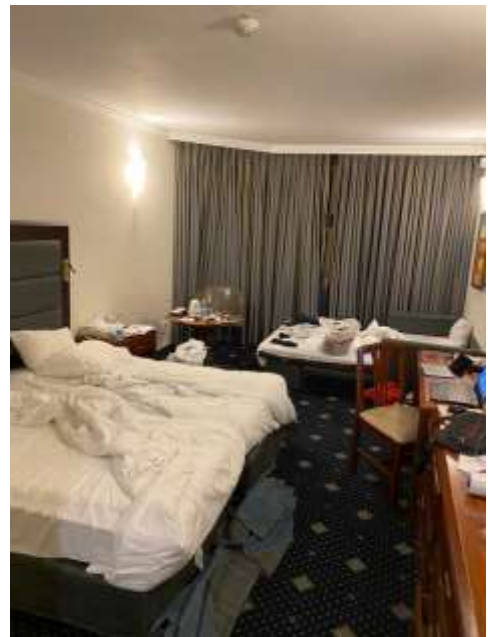
一日の生活パターンは、朝試合会場に行って、夕方から夜にホテルへ戻り、夜ミーティング（初日のみ）という繰り返しでした。ホテルでの食事は野菜が多く、充実していた印象です。

大会期間 3 日間を通して、全 14 ～ 15 試合程度を担当しました。

各国から参加している審判員のレベルは様々でしたが、フラッグフットボールのみ審判をしている人、アメリカンフットボールがメインでフラッグフットボールの審判もする人など国により状況は異なりました。

フラッグフットボールでは、原則接触禁止となっており、コンタクトに対する判定基準がタックルフットボールの審判としては難しいところです。

3 人部屋



ホテルの食事



1. 参加に向けて

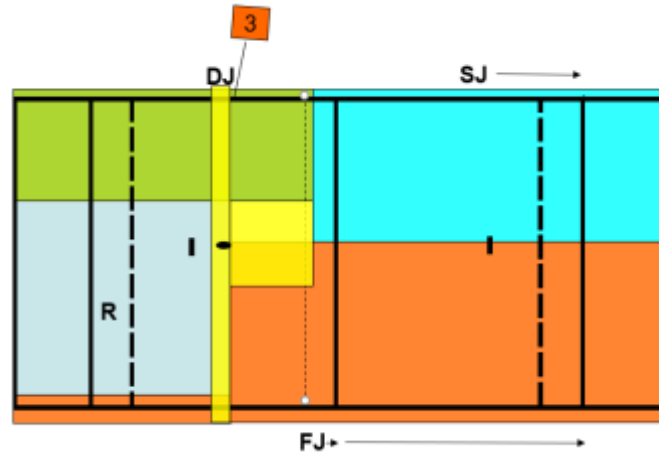
(ア) 2021 年初頭に日本アメリカンフットボール協会(JAFA)フラッグフットボール委員会より関東審判部へ協力の依頼があり、平澤さん、根岸の 2 名がフラッグフットボールの審判育成の面で協力していくこととなった。

(イ) 毎月のフラッグフットボール委員会への参加、2/28 の日本選手権、7/28 の関東学生連

盟主催の大会への協力、日本代表練習への参加を経て、JAF から IFAF へ 2 名を推薦し承認された。

審判ユニフォームは、2 インチゼブラジャージと黒スラックスを着用し、現在の FOA スタANDARD と同じです。メカニクは 4 人制で

レフリー(R)、ダウンジャッジ(DJ)、フィールドジャッジ(FJ)、サイドジャッジ(SJ)の 4 名で構成され、基本ポジションは以下の通りです。



プレーはパスプレーが主体でありロングパスも多用されるため、S J のポジションは最初からキーとなるライン上に位置します。F J は毎回 7 ヤードを計測するので、少しあわただしい感じです。ボールはプレーヤー自身が拾って R へ戻すのが原則となっているので、審判がボールを拾いに行くことはあまりありません。

2. 出発直前

- (ア) 新型コロナウイルスの感染状況も収まり、大会参加へ向けて準備を進めていた矢先、11 月下旬にオミクロン株に対する水際対策強化が発表され状況は一転。
- (イ) イスラエルが原則外国人の入国拒否を発表したため、大会の開催そのものが危ぶまれたが、イスラエルの現地組織委員会(LOC)が政府に許可を取り IFAF も開催を決めたのは出発前々日の 12/1 となりました。
- (ウ) また、航空便の欠航が増え、日本選手団(審判も含む)の帰国予定便の一部が欠航となり、代替便を確保できたのが前日の午前中というかなり綱渡りの状況で、日本選手団の派遣が確定しました。
- (エ) 日本の水際対策が強化され、帰国後 14 日間の自主隔離を 10 日に短縮でき自宅で待機で

(ウ) IFAF からの事前連絡として、審判ユニフォームについての情報、現行のルールブックとメカニクマニュアルが送付され情報共有がなされた。

きる予定で進めていたが、帰国後 6 日間の施設での待機、総隔離期間も 14 日で 10 日への短縮措置は停止となりました。このため、職場等の条件で、参加を見合わせるようになった選手スタッフも複数名発生してしまいました。

- (オ) 日本出国とイスラエル入国に際して必要な書類や申請がいくつかあり、その準備も進めました。出国 7 2 時間以内の PCR 検査陰性証明が必要なため、出発 2 日前に PCR 検査を受け、メールにより陰性証明を受け取りました。また出発 2 4 時間以内にイスラエルへの入国申請を行う必要があり、オンライン申請を行いヘブライ語の証明書をメールで受け取りました。様々な必要書類をスマートフォンに保存するとともに書類としても印刷して準備しました。

3. 往路

- (ア) 旅程は 12/3 出国、12/10 帰国で、帰国後の交通手段に公共交通手段が使用できないため、自家用車で成田空港へ向かい民間駐車場へ預けることとしました。
- (イ) 22:30 発の便で、19:00 に出発ロビーに集合しましたが、いくつかの必要書類の確認もありチェックインまでかなりの時間を要しまし

た。手荷物検査後の空港内では既に店は閉ま
っており、搭乗前に夕食を取ることは難しく
なっていました。

- (ウ) 成田からドバイまで約 11 時間、ドバイで 5
時間ほど待ち、イスラエルのテルアビブ行き
で約 3 時間、現地 11 時ごろに到着しまし
た。
- (エ) ここで、平澤さんの荷物が届かず、ロストバ
ゲージの手続きをして、入国審査と PCR 検
査の受診後に、バスでホテルへ移動しまし
た。テルアビブの空港からエルサレムまで 1
時間弱の行程でした。
- (オ) ホテル内には売店も自動販売機もなく水の確
保が心配されました。ホテルロビーのバーで
ペットボトルの水を購入できることが分か
り、一安心して JAF A 興さん、平澤さん、根
岸の 3 人がバーでコーラなど飲んでいたら、
LOC から空港での PCR 検査の結果がまだ出
ていないので、部屋で待機するように注意さ
れ、やむなく部屋で過ごすこととなりました。
- (カ) 結局、PCR 検査陰性の連絡があったのはそ
の日の深夜となり、夕食は部屋へのデリバリ
ーとなりました。 

初日の夕食

クルー編成

Crew 1	Crew 2	Crew 3	Crew 4
Giane Pessoa	Claes Scherwin	Ramaal Coleman	Sebastien Petit
Alexander Zimmerman	Herbert Prinz	Jukka Lehtinen	Matti Makarainen
Charles Davis	Effi Goroditzer	Marcos Alves	Bella Weil/Fill In
Byrd Chantaramanee	Agon Mazrekaj	Aleksander Eriksen	Uriel Espinosa Blanco
Crew 5	Crew 6	Crew 7	Crew 8
Omer Sela	Vladimir Platonov	Andrea Colombo	Desiree Abrams
Cédric Castaing	Chris Kämpfe	Marco Jurak	Lucrezia Cian
Kouichiro Hirasawa	Tsutomu Negishi	Sang-Mok Lee	Elisey Rodriguez
Alfredo León Alvidrez	Michaela Rom	Spain 1	Spain 2



4. 試合前

- (ア) 大会前日の 12/5 15:00 から 3 時間にわたり
審判の全体ミーティングが開催され、VTR
によるケーススタディ中心とした内容で、判
定基準の統一を図ろうとしていました。
- (イ) 今大会の審判員は、1 チームにつき 1 名各国
が審判を派遣することになっていましたが、
実際のクルーは 32 名で、予選は 8 クルーに
分かれて担当しました。ミーティングにおい
て、クルー編成が発表され、4 人制クルー、
平澤さんはクルー 5 に、根岸はクルー 6 に
各々アサインされた。
- (ウ) ミーティング後に WhatsApp で情報が共有
され、大会を通じて連絡手段として利用され
ました。

- (エ) 前日夜にホテル宴会場に出場国すべてが集め
られ、派手に開会セレモニーが行われまし
た。ご挨拶予定のエルサレム市長がなかなか
到着せず、その到着を待つ間、司会の人の間

を持たせるのに苦労していたのが印象的でし
た。

5. 大会中

(ア) アサイメント

- ① アサイメントは、最初の二日間は4人制の固定クルー、最終日のメダルラウンドは、試合毎にクルーが組まれ4人制でゲームを担当しました。
- ② 途中のスケジュール変更もあり、1日目は5、6試合、2日目は8、9試合を担当することとなりました。3日目は、試合数が全9試合となり、例外を除き各1試合となったのでスケジュール的には少し楽になりました。
- ③ 根岸は、初日5試合、二日目8試合、二日間で13試合を担当し、平澤さんは、初日5試合、二日目9試合、二日間で14試合を担当しました。最終日は、各々1試合の担当でした。

- ① 大会当日、スペインのPCR陰性確認が出ていないため、スペインの第1試合が初日最後に移動することになり、大幅にスケジュール変更がなされた。6つのフィールド同時進行で予選リーグが行われ、これを全8クルーで担当したため、予定では一日に最低5試合を担当するというハードスケジュールでしたが、クルー5、クルー6ともに残業?になりました。
- ② クルー6は、主にRをロシア人のVladimir、FJをチェコ人の女性Michaela、SJをドイツ人のChris、DJを根岸が担当してポジションをほぼ固定しました。
- ③ クルー5の平澤さんは、様々なポジションを経験していました。

(イ) 初日

Dec. 6th	1 - Broadcast	2	3	4	5	6
9:00	WD2 Israel v Denmark Crew 3		WD1 Japan v Brazil Crew 2		MC1 Japan v Italy Crew 1	MB1 Austria v Team Neutral Crew 5
10:15	MA2 France v USA Crew 7	WA1 USA v Team Neutral Crew 2	MC2 Austria v Switzerland Crew 8	MB2 Korea v Belarus Crew 1	MC2 Switzerland v Brazil Crew 3	MB1 Panama v Canada Crew 4
11:30	MD1 Mexico v Germany Crew 1	MD2 Germany v Slovakia Crew 7	MD1 Finland v Israel Crew 8	MC3 Japan v Denmark Crew 6	MD1 China v Italy Crew 8	MD3 Mexico v Thailand Crew 5
12:45	WA2 Spain v France Crew 4	MA3 Spain v India Crew 6	WD3 Brazil v Denmark Crew 3	MD4 Panama v Belarus Crew 6	WD4 Japan v Israel Crew 5	MD3 Team Neutral v Panama Crew 7
14:00	MD6 Mexico v Germany Crew 6	MD5 Finland v Thailand Crew 1	MA4 Chile v USA Crew 4	MC3 Austria v Switzerland Crew 8	MD4 Slovakia v Israel Crew 5	WA3 Team Neutral v Finland Crew 2
15:15	WA4 France v USA Crew 8	WB4 Canada v Chile Crew 9	MB4 Austria v Korea Crew 1	MA5 France v India Crew 7	MD3 Mexico v Switzerland Crew 8	MC4 Italy v Switzerland Crew 3
16:30	MC5 Brazil v Denmark Crew 5	MB5 Panama v Belarus Crew 1	MD5 Belarus v Italy Crew 8	MD6 Germany v Finland Crew 7	MD7 Israel v Thailand Crew 6	MD9 Slovakia v Mexico Crew 2
17:45	WA5 Spain v Finland Crew 6	MA1 Spain v Chile Crew 4				

PCを計る平澤さん



審判控室



チェコの Michaela と一緒に



(ウ) 二日目

① この日の最初の仕事？は、帰国時のための PCR 検査でした。担当試合前に検査を受けることができました。

② 6 試合担当予定でしたが、途中でスケジュール変更のニュースが入り、3 日目の荒天が予想されるため、順位決定戦がほぼすべて 2 日目に移動され、夜遅くまで試合が続くことが判明しました。

WhatsApp へ手書きのアサイメントが送付され、最後の試合は 22:45 開始とあり、皆でため息をつきました。

当初アサイメントと手書きの変更アサイメント

Dec. 7th	1 - Broadcast	2	3	4	5	6
9:00	W46 USA v Spain Crew 6	M86 Team Neutral v Belarus Crew 3	M46 USA v India Crew 5		MCS Brazil v Italy Crew 4	W56 Chile v Uruguay Crew 7
10:15	M810 Austria v Panama Crew 2	M47 Chile v France Crew 8	M42 Indonesia v Venezuela Crew 1	MC7 Denmark v Switzerland Crew 4	W57 Italy v Colombia Crew 5	W47 Finland v France Crew 3
11:30	MCS Mexico v Austria Crew 5	MC8 Brazil v Japan Crew 1	W48 Team Neutral v Spain Crew 7	W58 Mexico v Chile Crew 5	M48 Spain v USA Crew 6	M89 Team Neutral v Korea Crew 2
12:45	M910 Israel v Germany Crew 3	M911 Finland v Mexico Crew 8	W59 Italy v Venezuela Crew 1	W49 Finland v USA Crew 5	M912 Thailand v Slovakia Crew 6	W59 Denmark v Japan Crew 1
14:00	MC9 Italy v Denmark Crew 3	W912 Colombia v Mexico Crew 5	W56 Israel v Brazil Crew 4	M49 India v Chile Crew 6	W410 France v Team Neutral Crew 2	M88 Belarus v Austria Crew 7
15:15	M410 Spain v France Crew 1	M87 Panama v Korea Crew 3	M913 Slovakia v Finland Crew 2	MC10 Japan v Switzerland Crew 4	M913 Israel v Mexico Crew 5	M914 Thailand v Germany Crew 6
16:30	W913 A1 v D1 Crew 7	W913 A2 v C2 Crew 6	W911 W43 v W53 Crew 1	W913 W43 v W53 Crew 5	W913 A2 v D1 Crew 2	W914 A2 v C1 Crew 3
17:45	W913 A1 v D1 Crew 4	W913 A1 v C2 Crew 5	M911 M43 v M53 Crew 5	W913 M43 v M53 Crew 7	W913 A2 v D1 Crew 8	W914 A2 v C1 Crew 1
19:00						



(エ) 三日目

① 試合会場を 30,000 人収容のサッカースタジアム Teddy Stadium に移して、主に決勝トーナメントを実施。最終

日のアサイメントは、前日夜に WhatsApp で連絡があり、平澤さんは男子準決勝 パナマ vs. イタリアを、根岸は男子決勝を担当しました。

スタジアム



スタジアム内にシェルターがありました。



最終日の集合写真



- ② 男子準決勝 パナマ vs. イタリア、
1. クルーは、R : Vladimir(ロシア)、
D J : Marcos、 F J : Uriel、 S
J : Ko(平澤さん)
 2. 試合は接戦となり、難しい判定を
求められるシーンが多くありまし
たが、クルー全員が適切にオフィ
シエイティングしていました。
 3. 試合結果は、パナマ 45-41 イタリ
アでパナマが3位になりました。
- ③ 男子決勝 アメリカ vs. メキシコ、
1. クルーは、R : Des (アメリカ)、
D J : Tom(根岸)、 F J : Claus
(デンマーク)、 S J : Eli
 2. 男子決勝は大会を締めくくる最後
のゲームのため、このゲームに選
出されることは大変名誉なこと
のようで、メンバー発表後、何人か
の審判仲間から
「Congratulation!」と祝福の言葉
をもらいました。
 3. 試合は、1 タッチダウンを争う展
開となり厳しい内容となりました
が、メキシコの最後の攻撃を凌い
だアメリカが44-41で勝利を
つかめました。
- ④ 女子3位決定戦は、女性のためのクルーが
組まれました。



- ⑤ 全試合終了後、ホテルへ戻りメダルセレモニーが行われました。参加全チームを順に紹介する形で実施され、盛大に行われました。



(オ) 全般

- ① 今回の大会では、現地大使館の協力も重要でした。帰国時の PCR 検査結果のフォーマットに現地医務官の方の印をもらったり、水島駐イスラエル大使が日本チームの応援に来てくれたりと、現地大使館に協力いただいたことも助けになりました。

- ② 日本チームの戦績

◇男子 (11 位 2 勝 2 敗)

vs イタリア 35-41 ●
vs デンマーク 6-39 ●
vs ブラジル 43-15 ○
vs スイス 23-12 ○

◇女子 (6 位 2 勝 1 敗)

vs ブラジル 14-20 ●
vs イスラエル 40-0 ○
vs デンマーク 32-21 ○

プレイオフ

vs USA 24-40 ●



★日本女子チームは 6 位となり、8 位までが招待される今年 7 月にアメリカ・アラバマ州で開催される WORLD GAMES2022 に招待されることになっています。

6. 帰国

(ア) 12/9(木)の朝、ホテルからバスでテルアビブの Ben-Gurion 空港へ移動。

(イ) チェックイン前に事前チェックがあり、英語に堪能な選手が何人か空港職員にイスラエル国内でどういう行動をとっていたか、執拗に質問を受けていました。

(ウ) チェックイン後、出発までは空港内の店で各自お土産などを買う時間が少しありました。イスラエルで何か買う機会があったのはこの時だけでした。(平澤先輩はイスラエル到着後 3 日目まで荷物が到着せず、ひそかに街に出て買い物をしていました)

(エ) 経由地のドバイへ到着、ここで 9 時間ほど乗継便までに時間があり、各自休んだり、買い物をしたりして出発ゲートに集合したのですが、ここでひと騒動ありました。日本に帰るには、QR コードが必要だと言われてなかなかのせてもらえませんでした。出発時は情報のなかった厚労省の HP からの帰国申請のようなものが要となっていたのです。間抜けなことに、飛行機内で配られた書類に帰国したらやるべきことに、その QR コード取得が

あり、水際対策のドタバタが末端までしっかり伝わらず混乱する良い例と思いましたが、とりあえず搭乗出来て一安心でした。

(オ)

7. 帰国後

(ア) 到着後の状況は多くの報道で伝えられていた通りで、検査結果待ちとホテル手配のため空港で深夜まで待たされたり、空港近くのホテルでの6日間の待期期間中は全く部屋から出ることができないなど、不便な日を過ごしましたが、終わってみると貴重な体験をさせてもらったと感じます。

待期期間中の食事例



すると新たな第1ダウンを獲得できます。そのあとは4回の攻撃でタッチダウンを目指します。第1ダウンやタッチダウンが取れない場合は、攻守交替で守備側が自陣5ヤードから攻撃に移ります。その他に、攻撃側は7秒以内にQBはボールを投げることで、守備側は7ヤード後方からのみラッシュ可能等、特有のルールがいくつか存在します。

(オ) 試合時間は、前後半各20分でラスト2分のみ正式計時、トータル1時間弱になります。

8. ルール

(ア) フラグフットボールにあまり馴染みのない方もいると思いますので、簡単に国際ルールを説明すると、

(イ) フィールドサイズはフィールド・オブ・プレーが縦50ヤード、幅25ヤードとアメリカンフットボールの約4分の1、プレーヤー数は各チーム5名で全員有資格レシーバーです。

(ウ) プレーはスナップで開始され、タックルの代わりに両腰に付けたフラッグを取ることでボールデッドとなります。また、ブロック等、全ての接触は禁止です。

(エ) キックオフは無く、自陣5ヤードから攻撃を開始、4回のダウンでハーフラインまで到達

9. さいごに

(ア) この大会において、様々な国の審判と生活を共にして試合を担当することで、普通では得られない交流の機会を与えてもらいました。推薦していただいた方々とIFAFから招聘に感謝したいと思います。また、フラッグフットボールには特有のルールやアメリカンフットボールとは異なる視点で見なければならないケースもありますが、ベースとなるメカニクスは共通するところが多くあります。今大会では日頃の試合で培った審判技術を試合に

において十分に活かすことができ、一定の評価を受けて最終ゲームアサインしてもらうことができました。日頃一緒にオフィシエイティングしている関東審判部の仲間感謝したいと思います。